

大阪消防



特集1 これが大阪市消防局のNEW防火衣だ 特集2 次代につなぐ

年頭訓示 / 令和5年大阪市消防出初式 / IERの受検について / 防災サプリ
大阪公立大学との連携事業について / 実録!!調査鑑識 / コマンドアイ / 今月の推しの一枚
突撃取材!ウチはこんな訓練やってます! / UPDATE / We are Rookies! / ザ安全管理
現場に活かす!救命士国家試験問題 / 大阪の消防NEWS / 救急安心センターおおさかだより
秋の叙勲 / 大阪市北区ビル火災を踏まえた立入検査の強化と人材育成 / 功績表彰

コンテンツ / 災害概況
自衛消防隊 / 女性防火クラブだより
局長メッセージ / 編集後記

令和5年

2 No.875
月号

都会のオアシス 観光ビル 大東洋

- 9F 中華料理 大東洋 最大270名
 - 7F カプセルホテル (男性専用)
 - 6F メンズサウナ&スパ
 - 5F 大浴場 露天風呂 快適空間
 - 4F 本格派サウナ『ロウリュ』実施!
 - 3F カプセルホテル (男性専用)
 - 2F カプセルホテル (女性専用)
 - 1F エントランス 総合受付
 - B1 レディスサウナ&スパ
 - B2 岩盤浴*豊富なリラクゼーションMENU
- 併設 梅田バッティングドーム リアルピッチャー!



代表番号 06-6312-7521

団体割引適用で割安!
※④を除きます

～消防人生をずっと補償～

いざという時のために!

一般財団法人全国消防協会 職員福利厚生事業

消防職員・消防退職者 のための 保険

<p>1 30%</p> <p>消防職員傷害保険</p> <p>傷害総合保険</p> <p>募集時期 ■ 7月～8月 1月～2月 2月～4月 (新採用プラン ※①②のみ)</p>	<p>2 30%</p> <p>消防職員医療保険</p> <p>医療保険基本特約・疾病保険特約・ 傷害保険特約セット団体総合保険</p> <p>募集時期 ■ 1月～2月</p>	<p>3 30%</p> <p>弁護のちから</p> <p>弁護士費用総合補償 特約セット団体総合保険</p> <p>募集時期 ■ 1月～2月</p>	<p>年間保険料</p> <p>4 4,000円</p> <p>消防職員賠償責任保険</p> <p>救命救急士の 専門業務も補償!</p> <p>公務員賠償責任保険 (消防職員危険担保 特約条項、初期対応費用担保特約条項、迷惑行 為被害対応費用担保特約条項等付帯)</p> <p>募集時期 ■ 1月～2月 7月～8月</p>
<p>5 20%</p> <p>消防職員がん保険</p> <p>団体総合生活保険 (がん補償)</p> <p>募集時期 ■ 1月～2月</p>	<p>6 20%</p> <p>消防職員介護保険</p> <p>団体総合生活保険 (介護補償)</p> <p>募集時期 ■ 1月～2月</p>	<p>7 40%</p> <p>消防退職者医療保険</p> <p>団体総合生活保険 (医療補償)</p> <p>募集時期 ■ 1月～2月</p>	

こちらは概要のご案内です。各保険の詳細については、パンフレットをご参照ください。取扱商品、各保険の名称や補償内容等は引受保険会社によって異なりますので、ご加入にあたっては、必ず「重要事項等説明書」をよくご確認ください。詳細は約款によりますが、保険の内容等についてご不明な点等がある場合には、取扱代理店までお問い合わせください。

全国の消防職員・ご家族の皆様とともに
全国消防保険サービス株式会社 一般財団法人 全国消防協会
 損害保険取扱代理店

〒102-8119 東京都千代田区麹町1-6-2 麹町一丁目ビル5階 TEL.03-3234-1331(代)

<引受保険会社> 損害保険ジャパン株式会社・東京海上日動火災保険株式会社

SJ22-10841 (2022/11/24)
22-TC07246 (2022年11月作成)

消防局長年頭訓示（要約）

大阪市消防局長



小西 一功

新年あけましておめでとうございませう。さて、先ほど、松井市長から今年の市政方針が伝えられたところですが、これまでと同様に、限られた行財政資源のもと、また高齢化やDXといった社会環境の変化や時代の潮流を的確に捉えつつ、引き続き「住宅における災害の発生件数の低減及び被害の軽減」、「市民等が利用する施設の安全・安心の確保」、「救命の連鎖の強化による救命率の向上」、「大規模災害への対応力の強化」に取り組んでいただくとともに、本年からは「発展する大阪にふさわしい消防組織の実現」のためにも、次の3つのことを目標として決めました。

一つ目は、「安全文化の醸成と安全管理の徹底」です。

安全なくして、消防の任務は果たせません。組織一丸となって安全性向上への努力を継続することは、災害現場での職員の負傷事案をなくすことはもとより、平素においても事故の発生を防止し、更には、風通しの良い生き活きた職場をつくり、ひいては業務効率の向上・生産性の向上にもつながります。

いかなる場合も安全を最優先とする組織風土への転換を図るべく、より高いレベルの「安全文化」の醸成を目指すとともに、職員一人ひとりが安全管理の意識を高めてこれを習慣とし、「絶対に一人の職員も負傷させない」という強い共通認識を持って職務を遂行してください。

二つ目は、「業務改善の励行」です。

複雑多様化する災害や消防を取り巻く社会環境の変化に的確に対応するためには、限られた行政資源を適切に利用し、より効率的で質の高い消防行政サービスを展開することが求められます。

日々進歩するデジタル技術を活用したDXの推進や前例主義に縛られない新たな

視点に立った業務の見直しにより、一層の消防行政サービスの向上と業務の効率化を図るべく、業務改善を励行してください。

三つ目は、「次代を担う消防職員の育成」です。

発展する大阪にふさわしい消防組織の実現のためには、職員一人ひとりが安全・安心の担い手であるという自覚を持ち、市民から求められる理想的な職員を目指して自立的・主体的に研鑽を積めるよう、組織を挙げて計画的かつ総合的に人材育成を進める必要があります。各所属においては次代を担う消防職員の育成に取り組んでください。

以上の3つの項目を重点目標として、今後ますますの発展が見込まれる大都市・大阪で社会生活を営むすべての人の安全・安心を担う組織として、その信頼と期待に応えるべく、それぞれの職務に勇往邁進していただきたいと思います。





CONTENTS

大阪消防 2

表紙：消防艇（まいしま）

01：年頭訓示	22：コマンドアイ
02：令和5年大阪市消防出初式	24：実録!!調査鑑識
04：コンテンツ／災害概況	26：We are Rookies！
05：防災サプリ	28：大阪の消防NEWS
06：特集 これが大阪市消防局のNEW防火衣だ	30：秋の叙勲
08：特集 次代につなぐ	32：自衛消防隊／女性防火クラブだより
11：【職務】国際緊急援助隊救助チーム 能力外部評価(IER)の受検について	33：救急安心センター／今月の推しの一枚
14：【職務】大阪公立大学との連携事業について	34：現場に活かす！救急救命士国家試験問題
18：突撃取材!ウチはこんな訓練やっています!	35：功績表彰
20：UPDATE	38：【職務】大阪市北区ビル火災を踏まえた 立入検査の強化と人材育成
21：THE安全管理	40：局長メッセージ／編集後記

大阪市の災害概況

◎火災概況

	建物火災				小計	車両	船舶	爆発	その他	合計
	全焼	半焼	部分焼	ぼや						
12月中件数	2	1	8	31	42	1	0	1	7	51
令和4年 12月末累計	15	18	141	329	503	36	2	3	99	643
令和3年 12月末累計	21	16	119	311	467	40	2	3	84	596
累計比較	▲6	2	22	18	36	▲4	0	0	15	47

◎救急概況

	救急出場
12月中件数 (概数)	23,595
令和4年 12月末累計	244,253
令和3年 12月末累計	218,050
累計比較	26,203

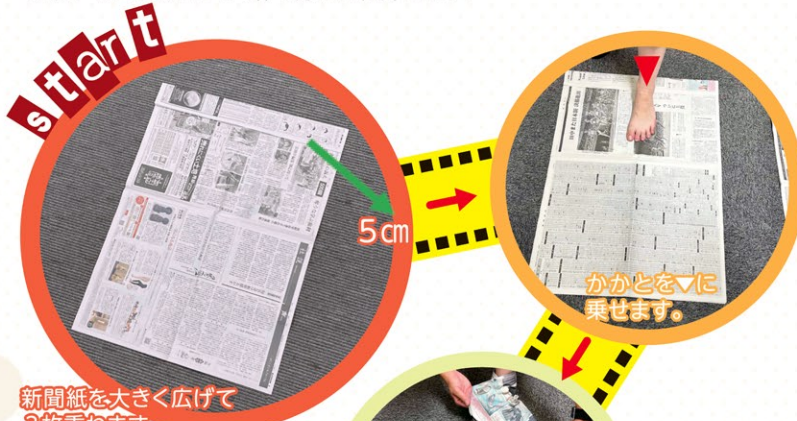
◎火災・救急以外の消防活動概況

	救助活動	危害排除	水防活動	その他の 消防活動
令和4年 12月末累計	4,187	1,244	2	1,246
令和3年 12月末累計	3,740	1,346	25	1,230
累計比較	447	▲102	▲23	16

ぼうさい ぷり

今月も、あなたの「防災」の知識や技術を少しアップデートする、栄養の一粒をお届けします。

今回ご紹介するのは、新聞紙で作る『新聞紙シューズ』！
避難をするときに足元を守ることができ、避難所で冷えた足元を温めるのにもとっても役立ちます。それではさっそく作り方をご紹介します。



新聞紙を大きく広げて3枚重ねます。そして短い辺を手前にして5cm折ります。



かかとを7に寄せます。



足の形に合うよう両側から新聞紙を折ります。



形を整えながら、隙間が出来ないように両側を折り込み、足の幅に合わせます。



つま先から1cmあけて、かかと側へ折り返します。



形が崩れないようにシューズを脱ぎ、後ろに余っている部分をシューズの内側に折りこめば...

今月のテーマ
防災グッズを
作ってみよう



新聞紙シューズの
完成!!

小さな足のお子様から大人の大
きな足まで作ることができます。



2023年は「防災の日」が設けられるきっかけとなった関東大震災から100年の節目の年です。
市民の防災意識は日に日に高まりをみせ、防災グッズもとても便利でリーズナブルなものが次々と販売されています。
もちろんそういった商品も必要で大切ですが、今回ご紹介した「新聞紙シューズ」や「紙で作る食器」、「ペットボトルで作るランタン」など、身近にあるものを使って自分で簡単に作れる防災グッズもたくさんあります。
また、防災グッズ作りに親子で一緒に取り組めば、家庭での防災について考えるきっかけにもなります。
さあ、手作り防災グッズで災害に対する備えをすすめましょう！

被服装備検討委員会にて、防火衣及びしころの安全性、活動性、快適性などについて検討され、令和4年度より、新型の防火衣及びしころが導入されていますので、その仕様についてご紹介します。

これが大阪市消防局の NEW防火衣だ

防火衣の歩み

当局の防火衣は、災害形態の変化や必要とされる安全性能の向上に伴い、昭和61年度に大阪市消防局発足時のコート型からセパレート型へと移行し、平成20年度に現行の防火衣が導入され、隊員の安全性、活動性、快適性の向上を図りながら各種改良を行ってきました。

そのような中、建物構造の遷移に伴って災害形態が近年変化していること、気候変動による温暖化などによりヒートストレスが増加傾向にあること、また、法令改正（※）に伴い、墜落等による身体への衝撃荷重を軽減し安全性を高めるため、墜落制止用器具を防火衣ズボンに装着できる仕様が求められるようになったことから、防火衣を更新することになりました。

※労働安全衛生法施行令の一部を改正する政令（平成30年政令第184号）等の施行

変更のポイント

①アルミ溶着の廃止

これまで、防火衣としころに採用されていたアルミ溶着を廃止し、通気性が高く、活動しやすい布生地タイプを採用。

②墜落制止用器具をズボンに装着

これまで、防火衣上衣に装着していた、墜落制止用器具をズボンに装着する仕様に変更。これにより、上衣もショート丈タイプに仕様を変更。

③しころに所属標識を設置し、使用時の視認性を向上

しころの周章を廃止し、所属標識を装着できる仕様に変更するとともに、形状を見直し、しころ使用時の視認性の向上を図りました。



昭和23年3月～
コート型



昭和61年度～



平成20年度～
セパレート型



令和4年度～

新型防火衣

防火衣上衣(前)



- ・アルミ溶着の廃止
- ・左腕に**警防指揮腕章用**面ファスナーを追加
- ・ベルトループを廃止
- ・肩補強布を追加
- ・胸ポケットの雨蓋の形状を変更

しころ



- ・使用時の視認性を向上
- ・アルミ溶着の廃止
- ・所属標識を追加
- ・階級周章を廃止
- ・収容方法をホックから面ファスナーに変更

防火衣上衣(後)



- ・腰上及び腰部背面にループを追加
- ・左脇身頃下部に**スリット**を追加
- ・背中標識の追加及び腰標識の位置を変更

警防指揮腕章

- ・アームバンドから面ファスナーへ変更
※(一般隊員は反射テープを取り付け)



スリット

- ・ランヤードの操作性を確保するためスリットを追加



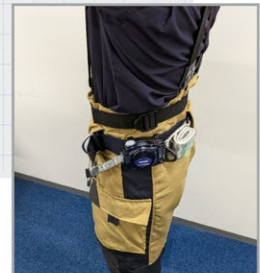
防火衣ズボン



- ・ベルトループを追加
- ・両大腿部にポケットを追加
- ・ポケット上にループを追加

ベルトループ

- ・左後腰はランヤード用のスペースを確保



次代につなぐ

守るべきもの — 消防職員の「命」と「家族の幸せ」

警防部長 消防正監 片山 雅義



私は、この3月31日をもって定年退職という形で消防職を辞することとなります。「社会になくはならない職務は、それが如何に辛いものであろうと、誰かが担わなければならない。」一誇り高きこの消防職に就き、そして微力ながらも41年を超える年月にわたってこの大阪市消防局の一員として存在できたことに對し、今は感謝の気持ちしかなく、「老兵は去るのみ」との静かな心境で、これまで歩んできた道を振り返っておりますが、最後に残す言葉として、私自身が「消防士にとって最も大事なこと」と考える安全管理に対する思いを職員の皆様にお伝えさせていただきます。

現在の常備（官設）消防発足以前の町火消の時代から変わらず、我々消防職員の潜在的な意識の中には、「民の生命、身体及び財産を、己の身を挺してでも守りぬく。」という、ある意味「自己犠牲を厭わない精神を尊いとする組織風土」を持つ側面があることは否定できないと思います。故に、これまでの消防戦術や活動基準を構築する際には、プロ消防として課された任務の達成が最優先され、職員の命を守る装備や戦術上の安全対策は、その任務達成のために必要な措置として第二義的に講じられてきました。そして、人的損失を伴う大きな事故が起こる度にその場しのぎとも言える見直しが繰り返し行われてきた。…現在の安全管理体制は、そうした悲しい歴史の積み上げによる成果物とも言えます。

現状を顧みますと、機械、装備及び戦術等各面において飛躍的な発展向上を見せた近代消防の現代においても、決して少なくない数の殉職事案、重大負傷事案が毎年発生している…この事実をしっかり目と目を向ける必要があります。そして、優秀な職員を失うことは、組織として大きな損失、打撃を受けることはもとより、何よりも最愛の家族から一番大切なものを奪い取ってしまうという取り返しのつかない事態を招いていることを決して忘れてはなりません。「殉職」は、絶対にあってはならないことなのです。

航空分野で開発され、現在では世界の各分野で安全管理思想の主流となっている「C・R・M（クルー・リソース・マネジメント）」では、「人はミスを起こすもの」という前提に立ち、避けることのできない人的要因の全てのリスクに対し、予めミスが起きない、またはミスが発生してもその被害を最小限に留めるための仕組みやコミュニケーション手法を、システムティックに事前に講じておく考え方です。

これからの消防における安全管理思想もこの理念に基づき再構築されるべきであり、「自己犠牲を厭わない精神を尊いとする組織風土」の呪縛から脱却し、「いかなる場合も、隊員の安全を最優先として判断する組織風土」への転換を目指さなければなりません。「絶対に殉職を出さない。」と言う強い組織決意を、すべての消防業務のスタート地点とする必要があります。

【略歴】

- S56.10 消防局入局
- S57.04 西淀川消防署
- S61.10 総務部人事教養課
- H03.10 東成消防署
- H07.04 警防部計画課
- H11.04 総務部人事厚生課
- H14.04 浪速消防署救助司令
- H15.04 総務部人事厚生課主査
- H18.04 総務部総務課担当係長（企画）
- H20.04 警防部警防課長代理
- H24.04 総務部総務課長代理
- H25.04 総務部消防体制担当課長
- H26.04 企画部企画課長
- H27.04 警防部警防課長
- H29.04 浪速消防署長
- H30.04 柏原羽曳野藤井寺消防組合消防長
- R03.04 中央消防署長
- R04.04 警防部長

これからの消防活動のあり方を鑑みた場合、AI・ロボット・高性能カメラ・センサー及びドローン等最新の科学技術を導入、駆使したものに変わっていくことは想像に難くありません。今までのように隊員が危険を冒して屋内進入せずとも、もっと楽に安全に、人命救助や消火活動が行えるようになるでしょう。しかしながら、如何に機械、装備が発展しようとも、「職員安全最優先」の考え方が組織の隅々にまで完全に浸透しない限り、想定外のことが常に起こる災害現場での二次災害発生を完全に防ぐことは難しいと考えます。なぜなら、「判断」するのは「人」であり、その「人」は必ずミスをするものだからです。

「人はミスを起こすもの」を前提とし、これまでの使命第一主義の呪縛から脱却した「いかなる場合も隊員の安全を最優先として判断する組織風土」を確立すること。これを大阪市消防局職員全員の力を持って目指して欲しいのです。そして、その考え方が全国消防のスタンダードとなって広まり、すべての消防職員の「命」と「家族の幸せ」が永遠に守られ続けていく…そのことを「消防」を愛した一人として願ってやみません。

卒業を目の前にした今、私は、「消防士になって本当に良かった。」心の底からそう感じています。これまでの我が消防人生を支えていただいたすべての皆様のご厚情に対しあらためて感謝を申し上げますとともに、前述のとおりのお思いを託し、大阪市消防局の益々の発展と皆様のご活躍、安全を祈念いたしております。



【略歴】

- S56.10 消防局入局
- S57.04 南消防署
- S62.10 大正消防署
- H05.10 都島消防署
- H08.04 警防部司令課
- H10.10 総務部総務課
- H16.04 浪速消防署救助司令
- H19.04 城東消防署救助担当司令兼警防部警防課担当係長
- H20.04 警防部警防課担当係長(機動指揮支援)
- H21.04 警防部警防課担当係長(警防)
- H22.04 警防部副参事担当係長(指令担当)
- H23.04 北消防署副署長
- H24.04 大阪府政策企画部危機管理室課長補佐
- H26.04 大阪府立消防学校教頭
- H28.04 救急部救急施策担当課長
- H29.04 救急部救急課長
- H30.04 東淀川消防署長
- R03.04 北消防署長
- R04.04 中央消防署長

感謝

中央消防署長 消防正監 北口 正

定年退職を間近にして本誌への投稿機会をいただきましたことにもずもって感謝申し上げます。

まだ少しだけ時間は残されていますが最後にこれまでの消防人生について思いの丈を綴らせていただきます。

私は今から約42年前の昭和56年10月、消防士であった兄の背中を追って大阪市の消防士になりました。当時は消防士の職務を理解していたわけでもありませんし全く何の根拠もなく日本一の消防士になることを目標にしていました。ただ、元来の“負けず嫌い”でとにかく一番になりたかったのだと思います。

42年を顧みますと消防士としてたぶん誰しもできないであろうたくさん経験させてくださいました。以下、自画自賛のようになっていますことをご容赦ください。



災害活動では、昭和59年、西区の科学技術センター火災で96名を救出する事案で活動。平成7年の阪神淡路大震災ではIRT隊員として救助活動。平成20年に機動指揮支援隊の初代隊長として配属され、多発した硫化水素による自損事案や15名の死者が発生した浪速区ビデオ店火災での救助活動。平成23年の東日本大震災では10日間に及ぶ後方支援活動。そして令和3年12月、28名の死傷者が発生した北区堂島北ビル火災では署長として出場し改めて火災現場の難しさを痛感しました。



災害以外では、救助大会において障害突破と応用登はんで消防救助技術近畿地区指導会に9回、全国消防救助技術大会に5回出場することができました。

職務としては指令情報センターや総務課広報担当を経験し、平成24年に大阪府危機管理室への出向。平成26年、その年に市消防学校と統合された大阪府立消防学校教頭に就任。その後、救急課長を経て東淀川・北・中央と消防署長を5年間務めることができました。

また警防担当係長時代にLT(高所活動車)や消防艇ゆうなぎの開発に携わり、各隊が様々な災害現場で活躍してくれていることは私の密かな自慢としています。

その他、数々の災害現場活動と職務経験、そして全国の消防職員と交流を図られたことは私の消防人としての財産となっています。

これまで本当にたくさんの経験を積ませていただきましたし、それぞれのステージでしか見ることのできない景色を味わわせていただきました。ただ、これらの経験と財産は全て人との繋がりがあってのことであり、自分一人で成し得たことなど一つもありません。上司・同僚・後輩の皆さんに支えてもらったからこそ得ることができたものです。

私がこれからの消防を担ってくれる皆さんに伝えたいことは、何事にも真面目にコツコツと一生懸命取り組み、絶対に成し遂げるという強い意志と感謝の心を持つこと。そうすれば必ず助けしてくれる人、支えてくれる人がいます。

そしてもう一つ、ヒーローであり続けるということ。消防士は市民にとってヒーローです。それは初任科生であろうと定年前のベテラン職員でも変わりません。消防士となった限りは常に凛とし格好よく生きる。仕事の時だけでなくプライベートでも同じです。24時間365日「消防士」という看板を背負っていることを忘れないください。

最後になりますが、今の私の心には感謝しかありません。この42年間で私と関わってくださった全ての方々、そして「消防」という世界に心から感謝申し上げます。

消防士になったときは漠然と日本一の消防士になりたいと思っていました。いまだに何が日本一なのかわかりませんが全国の消防士の中で私以上に充実感を得た消防士はいないと思います。

今、自信を持って言えること、それは「私は日本一幸せな消防士」であるということです。



※今回、寄稿いただいた片山部長と北口署長は同期生なんですね。

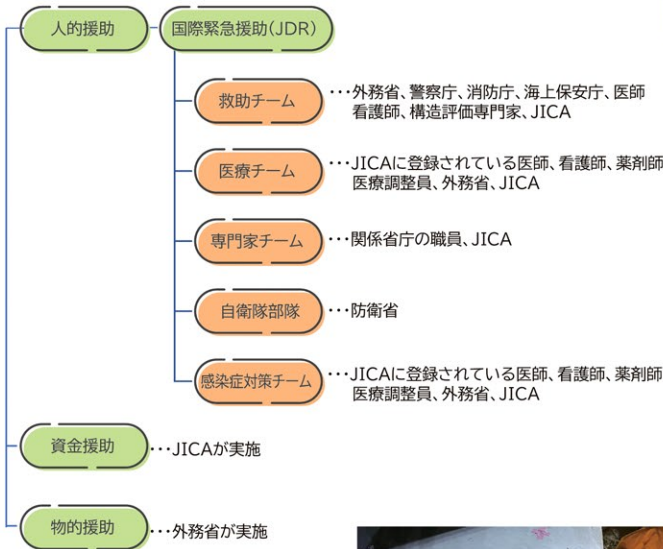
開発途上地域では、経済・社会基盤が弱い弱であるため、災害により大きな被害を受ける国が多くある。一方、地震や台風等の自然災害が多い日本では、これまでの災害対応に関する豊富な経験とノウハウを持っている。こうした経験を途上国の災害救援に生かすべく、日本は1979年に医療チームの派遣を中心とする国際緊急援助活動を開始した。現在、支援区分としては人的、物的、資金援助があり、災害の規模や被災国のニーズに応じて支援している。

日本の国際緊急援助隊（Japan Disaster Relief Team）（以下「JDR」という）については、1987年に「国際緊急援助隊の派遣に関する法律（通称JDR法）」が施行されて以降、医療チーム、救助チーム、専門家チーム、自衛隊部隊の4つのチームで支援を実施してきた。また、2014年から西アフリカで流行したエボラ出血熱への支援の経験を踏まえ、2015年には新たに感染症対策チームが設立され、現在、5つのチームで支援できる体制となっている。

国際緊急援助



国際緊急援助隊救助チーム 能力外部評価(IER)の 受検について



- 1986年 カメルーン(有毒ガス噴出)
エル・サルバドル(地震)
- 1990年 イラン(地震)
フィリピン(地震)
- 1991年 バングラディシュ(サイクロン)
- 1993年 マレーシア(ビル倒壊)
- 1996年 エジプト・アラブ(ビル倒壊)
- 1997年 インドネシア(森林火災)
- 1999年 コロンビア(地震)
トルコ(地震)
台湾(地震)
- 2003年 アルジェリア(地震)
- 2004年 モロッコ(地震)
タイ(地震)
- 2005年 パキスタン(地震)
- 2008年 中国(地震)
- 2009年 インドネシア(地震)
- 2011年 ニュージーランド(地震)
- 2015年 ネパール(地震)
- 2017年 メキシコ(地震)
- 2018年 台湾(地震)

これまでのJDR救助チームの派遣実績

※その他に、医療チーム59回、感染症対策チーム6回、専門家チーム53回、自衛隊部隊23回（輸送業務含む）の実績がある。



海外被災地においては、国際機関、被災国及び支援国が限られた資源（人、物、時間）の中で、組織的かつ効果的に連携し活動を展開しなければならない。適切に連携するためには、一定の標準化された手法や手順を関係機関や各チームが共有することが必要である。

IECとは国際捜索・救助諮問グループ（INSARAG）が実施する各国救助チームの能力を認証する外部評価制度のことを言う。

この制度は、各国の救助チーム等が一定の標準化された手法や手順を共有することにより、海外被災地における国際緊急援助活動全体を組織的かつ効果的に行うために構築されたもので、2005年に整備された。

外部評価の分類（IEC：INSARAG 外部評価分類）については、各国の救助チームの能力・体制について評価され、現在35チームが「Heavy（重）」、23チームが「Medium（中）」、3チームが「Light（軽）」の認証を受けている。

また、IEC認証は、各国救助チームを分類されたレベルに応じて、適切な活動サイトに割り当てるための指標として活用される。

	Light(軽)	Medium(中)	Heavy(重)
活動能力	消火若しくは救助の標準的な機能を有しているチーム	重硬材又は補強組石造の倒壊又は損壊現場における活動	鉄筋コンクリート又は鉄骨造の建造物の倒壊又は損壊現場における活動
捜索方法		捜索犬若しくは機材を用いた捜索	捜索犬及び機材を用いた捜索
派遣体制		意思決定後 8時間で自国空港集結	意思決定後 8時間で自国空港集結
連続活動期間	3日間	7日間	10日間
同時活動		1か所	同時に2か所

IER（INSARAG External Reclassification）は再受検のことをいい、IECの認定（証明書）は有効期限が5年と定められている。有効期限が満了する前に申請し、チームは再度認定を受けなければならない。

日本の救助チームは、2010年にIECを受検し「Heavy（重）」の認証を受け、2015年にはIERを受検し、再び「Heavy」の認証を受けている。そして2020年に再びIERを受検する予定であったが、新型コロナウイルスが世界中で感染拡大したことにより、2年遅れの2022年に受検することとなった。

今回のIERでは、36時間のシミュレーション訓練を実施し、11月10日に全ての訓練が終了。翌11日に結果を告げる認証式が執り行われた。

その際、海外の評価員から「Heavy（重）」の再認証を告げられ、JDRに対し認証状が手渡された。



2022年11月11日、日本の救助チームはIERを受検し、各国救助チームの最高分類である「Heavy(重)」を改めて取得しました。認証取得にあたっては、11月9日から2日間、実際の地震災害現場を想定した約36時間のシミュレーション訓練が兵庫県広域防災センターにて実施されました。

検定ではチームの能力を大きく「管理」「ロジスティクス」「搜索」「救助」及び「医療」の5つの分類に分け、その中で170以上にわたるチェック項目で評価されます。グリーン、イエロー、レッドの3段階評価のうち、ひとつでもレッド判定があると不合格という厳しいものです。

今回受検したJDR救助チームは75名で、外務省、警察庁・関係都道府県警察本部、消防庁・関係消防本部、海上保安庁、並びに国際協力機構（JICA）の職員及びJICAに登録されている医療関係者・構造評価専門家によって構成されています。消防からは全599名の登録隊員のうち、政令指定都市の国際消防救助隊指導員が概ね受験隊員を務め、2021年11月に実施したJDR総合訓練から準備を進めて来ました。

検定は、被災国の空港到着から30時間以内に6つの被災サイトで搜索・救助を行うという設定で行われました。倒壊危険のある建物や活動障害となる瓦礫など被災地の状況がリアルに再現され、2つの部隊が要救助者の搜索や救助にあたります。救助犬による搜索からハイリング（声かけ）や画像探査装置による搜索、更にはレスキューレーダー（電磁波探査装置）により要救助者の居場所を特定し、その場所へ向かうための突破口を重量物の安定化や重量物の移動、破壊によって作成していき、接触した要救助者を医療班による治療と並行しながら救出していきました。活動の中では、救助犬が負傷したり、隊員が負傷する場面もシミュレーションに盛り込まれ、海外での活動の厳しさや、1人の要救助者を救出する困難性を痛感しました。今回は災害現場を再現した訓練でしたが、あくまで安全が担保された訓練場です。やはり実災害となると、その困難性と危険性がより高まることは容易に想像できます。いかなる災害現場であっても、気後れることなく、持てる技術と経験を最大限発揮すべく、常に高みを目指して努力し続けなければならないと実感した訓練でした。

今回のIERの受検にあたって、過去の実派遣での活動や、IEC、IERで日本の救助技術の高さを世界に示した先人達に対する尊敬の念、更には被災国のJDR救助チームに対する期待の高さを感じ、日本の救助を背負うプレッシャーはかなりありましたが、災害現場が複雑多様化してきているように、それに対応する救助技術も進化しなければなりません。7年前のIER受検時よりJDR救助チームのレベルが向上していることを証明するため、チーム一丸となり臨んだ訓練でした。

今後も日本チームの誇りと、被災者を一人でも多く救助するという覚悟を持って精進していきます。また、この経験を後進に伝承し、更なる救助活動能力の向上に努めていきたいと思っております。

国際消防救助隊 指導員
警防部 警防課（救助）
消防司令補 上野正張





～大阪公立大学との連携事業について～

予防課 地域防災担当では、火災予防運動のオープニングイベントを担当しています。
今年、初めての取り組みとして、大阪公立大学のご協力のもと、大学生にオープニングイベントへの出演や企画の考案をして頂きました。これまでの軌跡をご紹介します。

そうだ、大学生の力を！

長く続くコロナ禍で、令和元年11月9日を最後に、以降実施できなかった火災予防運動オープニングイベント。世間で徐々に各種イベントが復活していく中、今年こそはオープニングイベントを実施したい！そして実施するなら、イベントに参加した市民の皆さまが笑顔になり、火災予防で作る明るい未来を思い描けるような楽しいイベントにしたい！

そんな想いを胸に、どんなイベントにするか地域防災の職員は企画を練り始めました。

ちょうどその時、地域防災の隣に座っている防災指導の職員は、「大学生消防体験教室(※)」のポスターを作成しており、地域防災力の要となりうる大学生たちをいかに呼び込むかに奮闘していました。

そこで、担当職員は考えました。

イベントの企画や演出に、大学生に関わってもらうのはどうだろう。

そうすれば・・・

- ①消防のみでは演出できない幅のある表現が可能となり、イベントへの注目度が高まる
- ②参加する大学生の消防行政理解、防災への意識高揚、地域防災力向上が期待できる
- ③企画立案から実施まで関わっていただくことにより、学生側は社会経験を積むことができる

といったように、学生と消防局、どちらにとってもよいのではないかと・・・？

そんな着想から、手探りの中、イベント準備がスタートしました。



大学生消防体験教室とは？



大阪市内に在住もしくは在学の大学生を対象とした高度で実践的な体験型防災研修。消防隊員が火災現場で実際に使用しているホースを使用しての放水訓練、震災を想定した訓練用瓦礫施設での救出訓練、消防の基本である様々なロープの結び方など、大学生に特化した訓練に加えて、一般市民向けの消火器訓練や天ぷら油火災消火訓練なども行います。詳しくはホームページをチェック！



新たなスタートを切る、大阪公立大学に！

大学生に協力していただきたい。

そんな着想を得たものの、たくさんある大学の中からどこに依頼したらいいのやら・・・。

様々な情報を集めていく中で、担当職員の目に留まったのが「大阪公立大学」でした。

大阪公立大学は、それまで「大阪府立大学」「大阪市立大学」であった2校が統合し、令和4年4月1日から「大阪公立大学」として新たなスタートを切った大学です。

長くできなかったイベントを今年リスタートする我々と、新たなスタートを切った大学。これは相通じる部分があるのではないかとあらためて大学のホームページで確認すると、「社会連携への取り組み：本学では、地域連携センターを窓口とし、行政機関のほか、さまざまな企業・団体等と連携した活動を行っています。」と書かれているではありませんか！過去に前身である、大阪市立大学で予防課と連携して行った火災分析プロジェクトの実績もあります。

これは一度ぜひお話を聞いてみよう！と思い、窓口である地域連携センターに伺うことにしました。



頼れる存在 地域連携センター

果たしてこのアイデア、大学側にはどのように受けとめられるだろうか・・・。ドキドキしながら、地域連携センターに伺いましたが、驚くほど温かく迎えていただけました。

「いいアイデアですね。学生も喜ぶと思います。協力しますので、ぜひ進めましょう！」

地域連携センターの事務局を担う社会連携担当課長の松本氏をはじめ、職員の皆さんは満面の笑みで応じてくださり、まだぼんやりとしたアイデアを実施可能な形にするために、大学側ができること、クリアすべき問題、今後のスケジュールなど、様々な側面からのアドバイスをいただきました。

こうして、地域連携センターという最強の味方を得て、大学との連携事業は実現に向け大きく動き出したのです。



市民を笑顔にする演出を

令和4年秋の火災予防運動のオープニングイベントは、イベント再開にあたり元気な明るいイベントにしたい。そのコンセプトを地域連携センターに伝え、ステージに出演する学生団体を探していただきました。

調整の結果、「応援団」「アイドルコピーダンスサークル にゃん恋」の2団体に協力を依頼。学園祭シーズン真っただ中で出演イベントが相次ぐ中でしたが、両団体から、「火災予防の啓発に協力できるなら」と快く出演の了解をもらいました。



秋の火災予防運動オープニングイベント当日

晴れ渡る秋空のもと、迎えた11月6日。

令和4年秋の火災予防運動オープニングイベント当日です。

会場の三井アウトレットパーク大阪鶴見にて、まずステージに登場したのは「アイドルコピーダンスサークル にゃん恋」の4人。手作りの衣裳を身にまとい、「H APPY」をテーマにした2曲に合わせてかわいいダンスを披露。見る人を思わず笑顔にする、とても元気なパフォーマンスでした。ダンスのあとは、ステージ上で観客に向けて消防ふれあいコーナーを紹介。各コーナーの魅力を笑顔いっぱい自分の言葉で伝えてくれました。



次に登場した「応援団」。学ラン姿でビシッと並び、吹奏と太鼓に合わせて気合の入った演技を披露してくれました。この日のために消防スペシャルバージョンにアレンジしてくれた曲と曲との間の「つなぎ」の言葉、「みんなで火の用心 レッツゴー！」の力強い声が会場に響き渡りました。チャアリーディングも一糸乱れぬ動きで盛り上げ、会場は一体感で包まれました。

観客席を埋め尽くした市民の皆さまの輝く笑顔を見て、地域防災の職員は心から感謝するとともに、大学の協力をいただき、本当に良かったと思いました。手探りで進んだ連携事業が、最初の実を結んだ瞬間でした。

市民の皆さまから好評だった今回のイベント。

さらに良かったことは、参加した大学生からも「参加して良かった」「楽しかった」「消防に興味を持つようになった」と言って頂けたことです。

消防、大学生、市民、それぞれが嬉しい、まさに「三方良し」のイベントになったと実感しました。



春のイベントにむけて

予防課地域防災のイベント担当は、「秋」が終われば「春」にむけて動き出します。秋の成功をふまえ春のイベントでは、大学との連携をどのように深めればよいのか。大学生に出演いただくのに加え、じっくり取り組んでいただく企画も面白いのではないかと考えて、今回は「消防イベントワークショップ」を立ち上げることにしました。

消防イベントワークショップとは？

毎回オープニングイベントを企画するのは、当然ながら消防職員です。過去のイベントを参考にし、他都市の情報を集めながら、いつも市民の皆さまに興味を持っていただけるイベントにするにはどうしたらいいかを考えますが、どうしても似たような企画になりがちです。

そこで春は、先入観のない市民目線で大学生にワークショップ形式でオープニングイベントの企画を考えてもらい、それを実際に会場で行ってみよう！というアイデアが浮かびました。これも大阪公立大学地域連携センターに相談したところ快諾いただき、協力いただける学生を募集することになりました。

CREATE SAFETY AND HAPPINESS

消防イベントワークショップ
説明会、開催。

日時 2022年7月11日(月) 18:30~
場所 大阪公立大学社本キャンパス
学術情報総合センター1階文化交流室

大阪公立大学 大阪府庁

学生は集まるのか？ドキドキのワークショップ準備

学業に部活にバイトに、ただでさえ大忙しの大学生が、ボランティアで消防イベントワークショップに参加してもらえるのだろうか・・・。

「0人だったらどうしよう・・・。」

説明会を開催したものの、実際にどれくらい申し込みいただけるのか不安でしたが、ふたを開けてみると、なんと7名の学生が登録してくれていました。

これには担当者一同、感謝とともに欢喜でした。



七人寄れば文殊以上の知恵？



登録してくれた7名は、学年も学部も異なる学生。

それぞれにこのワークショップに興味を持ち、自主的に参加したとのことで、改めて感謝の気持ちでいっぱいになりました。

実際にお会いして、このワークショップにかける思いを聞くにつけて、「絶対にもた『三方良し』のイベントにしたい！」と強く感じた職員一同でした。

とうとうスタート！ワークショップ

地域連携センターの関係者も見守る中、第1回目のワークショップがスタートしました。

まずは消防の全体像について少し紹介したあと、発想のエクササイズとして「高齢男性にたばこ火災防止を呼びかけるには？」「消防のイメージアップを図るには？」などをテーマに、思いついた手法をどんどんあげてブレインストーミング（集団発想法）を実施。ホワイトボードに書き出していきました。

学生グループと消防職員グループに分かれて書き出したのですが、学生グループの発想の豊かなことには驚かばかり。初対面にも関わらず、臆することなく自分の意見を率直に述べていただけ、「これは面白くなりそうだ」との手応えを得ました。



どうなる？イベント。どうする？企画。



このように始まった消防イベントワークショップ。この原稿を執筆している12月7日時点で全5回のうち第3回までを終え、残るはあと2回となりました。

既に学生側からはたくさんアイデアがあがっており、どのように当日会場で実施するかは現在絶賛調整中です。

令和5年春の火災予防運動オープニングイベント開催の際は、この記事をご覧の皆さんもぜひ会場にお越しいただき、大学生が一生命考えてくれた企画をご覧いただければと思います。

イベント当日の様子は大阪消防誌にてご報告させていただきます！
皆さん、応援よろしくお祈りします！



突撃取材！

ウチの署は、こんな訓練やっています！

このコーナーは、各署所で実施しているさまざまな訓練の様子を広報担当が突撃取材！！「ウチの署は、訓練スペースに限りがあるから…」「ウチの行政区は河川が多いから…」など、署所で創意工夫した訓練の様子をお伝えします！

第21回は大正消防署が実施している「動画を活用した指導者育成を伴う人材育成訓練」を紹介します！



今回、訓練を紹介してくれるのはこの人！



消防司令補
野村 順二

消防司令補
木戸地 泰輔

大正消防署の新しい訓練の取り組み

「後輩への指導方法がわからない！」「人材育成？具体的にどうやるの！？」そのような声に応えるべく、大正消防署では研修担当主任等が中心となり、強化対象者の育成だけではなく、専任指導員の指導力を錬成し「大正消防署所属研修計画」に活かすことで、効果的なボトムアップを行う「動画を活用した指導者育成を伴う人材育成訓練」を計画し実行しています。

「動画を活用した指導者育成を伴う人材育成訓練」とは

「動画を活用した指導者育成を伴う人材育成訓練」は、以下のステップを踏むことで、専任指導員と強化対象者の直接的な育成と、作成した各動画を専任指導員や強化対象者が視聴することにより、予習や復習、リフレクションが任意の時間に簡単にできる訓練システムです。

STEP1 <<教育動画の作成>>

指導理論や指導方法、フィードバックスキルやコミュニケーションスキルなど様々な「**指導の手法！**」を専任指導員に対して指導するとともに、「教育動画」を予習・復習を目的に作成！

STEP2 <<活用動画の作成>>

専任指導員は「教育動画」で予習・復習を行い、実際の訓練をモデル（今回は高エネルギー外傷アプローチ訓練）として、ステップ1の「**指導の手法！**」を活用し、指導内容に応じた模範的となる「活用動画」を作成！

STEP3 <<指導の実践動画>>

専任指導員は「教育動画」と「活用動画」で予習・復習を行い、実際に強化対象者を指導！その指導風景も撮影！

STEP4 <<振り返り>>

専任指導員は「指導の実践動画」を確認し、自身の指導に対してリフレクションし、効果的なPDCAサイクルを回す！強化対象者は、「指導の実践動画」にて予習・復習を行うと同時に、自身の学ぶ姿勢も客観的に評価！

メラビアンの法則

- 言語情報 7%
- 聴覚情報 38%
- 視覚情報 55%

声のトーンや表情



以上、4つのステップを通して、習得した指導力、学ぶ姿勢を「大正消防署所属研修計画」に活かすことで効果的な人材育成を目指す！

STEP1 の
動画はコチラ



動画活用でのインセンティブと効果！

《みんなが主人公！》

各専任指導員が撮影動画の主人公となることで、嬉し恥ずかしながらもヤル気 UP！
 警防担当、予防担当関わらずみんなが主人公！

《アウトプットによる自己啓発！》

各専任指導員は、動画により各スキルをインプットし、強化対象者へアウトプットするため、能動的に自己啓発し能力 UP！

《模範的な存在！》

主人公となり指導することで、身だしなみや言動にも気遣い！

《模範的な生徒！》

強化対象者が、自身が映っている動画を見ることで「社会人としての学ぶ姿勢」を客観的に評価！

《動画による予習、復習が簡単！》

専任指導員、強化対象者に関わらず、全ての職員がアーカイブ化された動画を任意の時間に視聴することができるので、予習・復習が簡単に行える！



故 山本五十六氏の名言

やってみせ、言って聞かせて、させてみせ、ほめてやらねば、人は動かじ。
 話し合い、耳を傾け、承認し、任せてやらねば、人は育たず。
 やっている、姿を感謝で見守って、信頼せねば、人は実らず。



山本五十六
 画:野村

アンケート

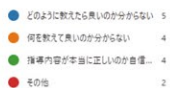
5. 専任指導員および新任実務教育専任指導員、指導者の立場の方に質問です。
 強化対象者等への指導に自信または不安はありますか？

註記



6. 上記5で「不安だ」または「非常に不安だ」と回答された方へ質問です。
 指導を行う上で悩んでいることはありますか？

註記



今回、新しい取り組みの前と後にアンケートを実施します。
 左記のアンケートは新しい取り組み前のアンケートで、大正消防署職員の消防士～消防司令補、20代～40代で実施しました。
 アンケート『前』の結果が、年度末に行うアンケート『後』でどのように変わるか、結果を参考にPDCA サイクルを回していきます！

さいごに

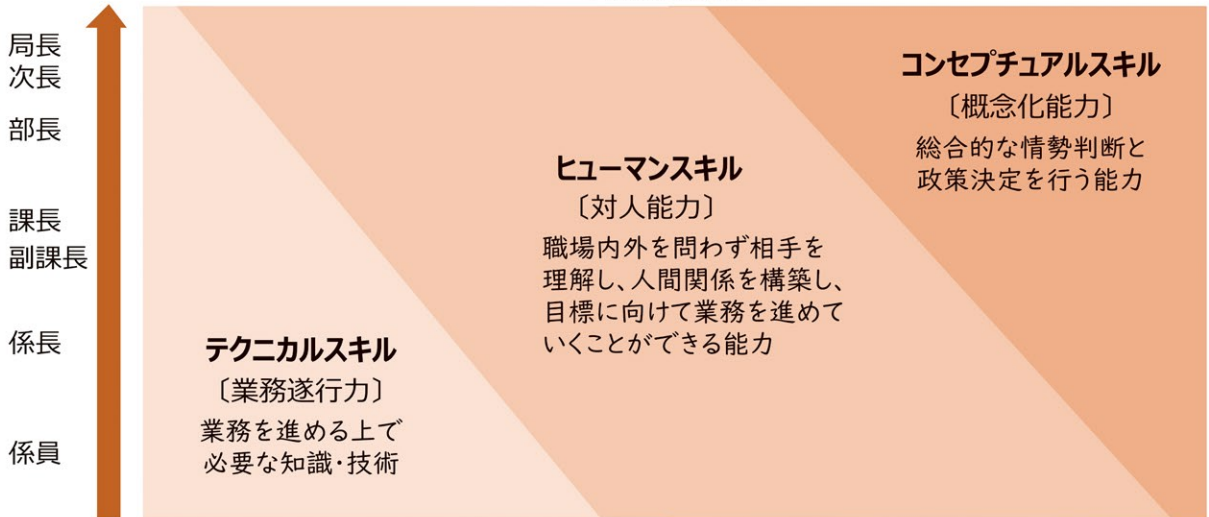
今回は、大正消防署で取り組んでいる「動画を活用した指導者育成を伴う人材育成訓練」を紹介しました。
 所属研修計画を進めるにあたり、まずは指導者を育成することで若年層職員に同水準の教養を提供するとともに、教養に使用する動画は、消防局が採用するクラウドサービスを活用し、効率的かつ効果的な取り組みになっていると感じています。人材育成に関しても、昨今、求められている DX（デジタルトランスフォーメーション）の可能性を示せたのではないのでしょうか。
 お問い合わせは 大正消防署 野村まで！ 06-6552-0119

みなさんは部下育成やチームビルディングでお悩みではないでしょうか？
このコーナーでは日常的に職場で人材育成に取り組むみなさん（リーダー）に部下育成方法や必要なスキル、人材育成に関する豆知識を紹介していきます。
リーダーに必要なことは素質ではなく、学び続けること（アップデート）です！

ヒューマンスキルとは…

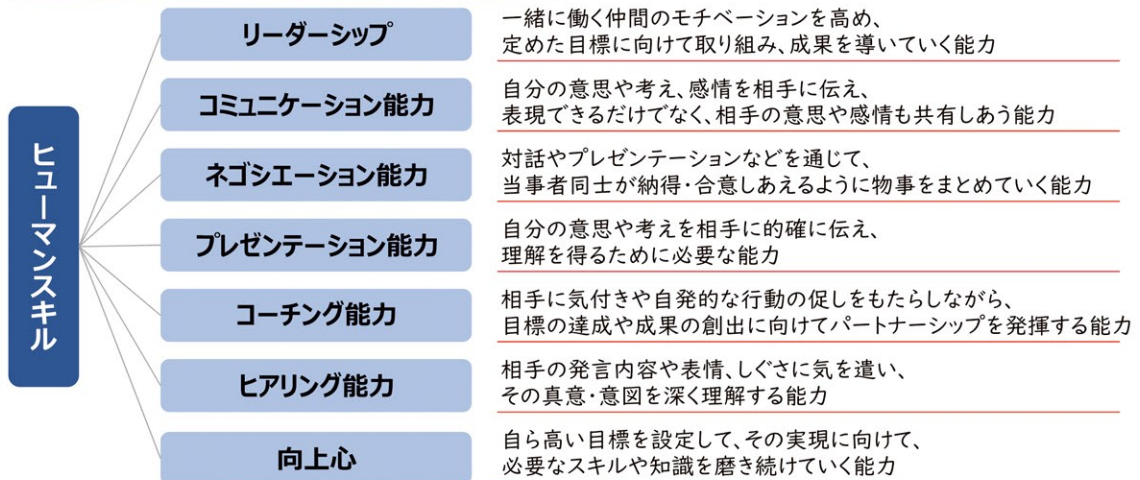
他者と良好な関係を築き、維持をしながら仕事をうまく進めていく能力で、米国の経済学者であるロバート・カツが提唱したビジネススキルのひとつです。 **中間管理職に最も求められるスキル**とされています。
カツはビジネス上必要な能力を「ヒューマンスキル」の他、「**テクニカルスキル**」、「**コンセプチュアルスキル**」の3つに分類し、役職との関係性を示しました。その理論は「カツ理論」と呼ばれています。

〔カツ理論〕



役職が高くなるにつれてテクニカルスキルよりコンセプチュアルスキルの比重が高まっていくが **ヒューマンスキルの比重は変わらない（全ての階級・役職・キャリアに必要とされている）**

ヒューマンスキル7つの構成要素



今月のつばやき

即戦力になる**人材**なんて存在しない！ だから**育てる**のだ！

警防訓練等における安全対策基準

5 安全管理の体制

訓練等の実施に当たっては、指揮者及び指導者等は安全管理に十分配慮するとともに、所属においては次の担当者を指名し、安全対策の徹底を図るものとする。

(1) 安全管理主任者

所属長等は、訓練等の実施に当たって、その規模、内容及び特性等に応じた適任者を安全管理主任者として、消防司令以上の階級にある者のうちから指名する。

(2) 安全管理補助員

安全管理主任者は、訓練等の規模、内容及び特性等に応じた人員を安全管理補助員として、消防士長以上の階級にある者のうちから指名する。

THE安全管理



1分間の教材

*「〇〇中隊訓練終了、総員〇名、事故なし、現在員〇名！」

コマンドアイ



様々な事案から災害活動を振り返る

司令課 北方面隊

個別出場計画適用火災！

1 はじめに

皆さんは、「第4類危険物事業所個別出場計画適用火災」と聞けば、どの様な事をイメージするだろうか。

「直近隊・中継隊による相掛り戦術？」「適用火災？対象物火災の聞き間違い？」「計画適用？図面確認しよう！」「第4類って聞こえたな？それなら泡消火メインやな。」この様に様々な事が脳裏を駆け巡るのではないかと思う。今回は、令和2年3月に警防マニュアルの一部改正で第4類危険物事業所個別出場計画が樹立されて以来、初めて適用された事例を参考に、第4類危険物事業所個別出場計画の概要と火災時の活動について紹介する。

2 第4類危険物事業所

〈警防計画〉と

〈個別出場計画〉の比較

第4類危険物事業所個別出場計画という聞き慣れないワード

に少し戸惑いを覚えないだろうか。第4類危険物事業所であれば、「警防計画」という言葉が先に連想されるのではないかと思う。まずは、第4類危険物事業所における〈警防計画〉と〈個別出場計画〉の違いについて簡単に説明する。

〈警防計画〉

消防法別表に定める第4類の危険物を貯蔵し、又は取り扱う事業所のうち、消防法別表に定める指定数量の500倍以上を貯蔵し、又は取り扱う事業所（地下タンク貯蔵所、給油取扱所、等（※）は除く）において、消防隊の活動方針などを予め検討し、警防資料（※2）の作成及び消防部隊の出場計画を定めた事前計画をいう。

※1 一般取扱所のうち、炉、ボイラー、油圧設備、乾燥設備、ローリー詰、容器詰、印刷及び危険物を水で希釈する施設。

※2 警防資料、事業所敷地内の各施設の配置や危険物の品名、容量、消防部隊の進入位置や指揮本部位置等の情報を事前に把握し作成したものである。

〈火災警防計画が樹立されている第4類危険物事業所での出場計画〉

隊名	指揮	救助		消火			泡消火※1※4		救急	梯子等※4		液搬※4		方面指揮
車種	CC等	R,AR,BR,CR	ASR	ST,STR,MT	DB	C	ST,STR,MT	A	L	ST,STR,MT	AT	ST,STR,MT	DC	
特別第1出場	2※2	2	1	6※3	1	1	3（1編成）	1	1	1	1	1	2	
特別第2出場		2		7※3		2	6（2編成）	1			1	1		
特別第3出場		2		5		2	6（2編成）	1			1	1		

- ※1 泡消火隊の編成は、消防部隊の出場計画を定める要綱の付表のとおりとする。
- ※2 任務別の中隊長が乗り組む隊をいう。
- ※3 指揮班1隊を含む。
- ※4 危険物施設の状況に応じて隊数の増減あり。

〈個別出場計画が樹立されている第4類危険物事業所での出場計画〉

隊名	指揮	救助		消火			泡消火※1※4		救急	梯子等※4		液搬※4		方面指揮
車種	CC等	R,AR,BR,CR	ASR	ST,STR,MT	DB	C	ST,STR,MT	A	L	ST,STR,MT	AT	ST,STR,MT	DC	
特別第1出場	2※2	2	1	6※3	1	1	3（1編成）	1	1	1	1	1	2	
特別第2出場		2		7※3		2	6（2編成）	1			1	1		
特別第3出場		2		5		2	6（2編成）	1			1	1		

- ※1 泡消火隊の編成は、消防部隊の出場計画を定める要綱の付表のとおりとする。
- ※2 任務別の中隊長が乗り組む隊をいう。
- ※3 指揮班1隊を含む。
- ※4 危険物施設の状況に応じて隊数の増減あり。

第4類危険物事業所
事前計画の比較

	取扱う指定数量の倍数	警防資料	水利指定
警防計画	500倍以上	有り	有り
個別出場計画	200倍以上 500倍未満	無し	有り

〈個別出場計画〉
消防法別表に定める第4類の危険物を貯蔵し、又は取り扱う事業所のうち、消防法別表に定める指定数量の200倍以上500倍未満貯蔵し、又は取り扱う事業所（地下タンク貯蔵所、給油取扱所等（※1）は除く）にお

いて、消防部隊の出場計画のみを定めたもの。

前出の出場計画表及び比較表から、どちらの計画においても同程度の出場体制で水利指定がされる点は同じであるものの、警防資料の事前作成については、警防計画にはあるが個別出場計画にはない。

なお、個別出場計画対象物の出場指令書には、対象物名の前に「●●」とマークが表記される。

3 災害概要

時系列

覚知時間… 18時21分
特別第1出場指令… 18時23分
先着隊放水開始… 18時31分
鎮圧時間… 18時55分
鎮火時間… 21時23分
焼損程度

SRC造折板鉄板葺一部鉄板張平屋建ごみ集積場(建40m/延40m)において、側壁8m及び廃プラスチック10m焼損
敷地面積…226、425㎡
(規制対象物数…15)

危険物施設数…29)

負傷者…なし
気象状況…晴れ 乾燥注意報

発表中
出場隊…車両30台 人員105名

4 活動概況について

「火災指令K管内、本件第4類個別出場計画適用火災」

薄暮の迫る中、署外活動中に火災指令を受信したK消火隊は、直ちにANSINで指令内容を確認する。指令場所は、現在地から近く先着隊であると予想された。迅速に出場準備を整え出場し、約2分で指令場所である事業所に到着する。入口付近で関係者の誘導を受け、敷地内へ車両で進入した。小隊長は、広大な敷地の事業所であり出場所への移動に時間を要すると判断し、後着隊の進入経路を考慮して「関係者情報によれば、発生場所にあつては敷地内を直進し、突き当りを左折した場所の建物」と即報した。その間に後着隊は次々と当該事業所へ到着し、五月雨式に敷地内へ進入していった。所轄中隊長到着時、事業所入口付近に関係者及び隊はおらず、状況把握できないまま先着隊情報どおり敷地内へと進入するも、発生場所の特定各隊の活動状況把握に苦慮していた。

そんな中、先着K消火隊から「K消火隊火点到着、本件、屋外ごみ集積場において、スクラップ若干燃焼中」との即報が入る。燃焼状況が把握されたことで、所轄中隊長は、泡消火による消火活動は不必要と判断し、「泡消火の要なし、通常火災として対応する」と周知し、事案を収束させている。

5 活動ポイント

まず大原則として、第4類危険物事業所における火災では、「第4類危険物災害等消防活動マニュアル」(以下、「マニュアル」という)に沿った活動が必須であることを十二分に理解しておいていただきたい。さらには、個別出場計画対象物では事前資料等がなく、活動方針を検討する上で、情報収集隊による初期の情報収集は非常に重要な任務となる。そのため、マニュアルの初動活動における一連の流れが大変重要となる。

ここでは、その初動活動の重要な活動ポイントを確認する。

- ①「任務確認」
出場時に、「出場指令書」及び車載の「任務カード」を確認し、自隊の任務を把握しておく。
 - ②「一時集結」
中隊長から指示のあった一時集結場所に集結をする。
 - ③「情報収集」
先着消火隊及び救助隊は、「情報収集シート」を活用し、初動活動に必要な情報を優先して収集する。
 - ④「活動方針」
泡消火を基本とし、総合的に検討し、火災防ぎよ体制を構築する。
- 以上、4つの活動ポイントを各隊が確実に理解した上で初動活動を成すことにより、以降の組織的で効果的な警防活動に展開していくことができる。

6 まとめ

令和4年11月現在、大阪市内には第4類危険物事業所(警防計画)が41件、第4類危険物事業所(個別出場計画)が21件樹立されている。また、これらの危険物事業所において、過去約15年間で10回の特別第一出場が指令されている。この様に、事案は少ないながらも災害は実際に発生しているのが現状であり、ひとたび危険物施設が燃え上がると、その被害は甚大なものとなる。10年前に発生した姫路市の危険物事業所における火災は、多数の死傷者が発生した事案であり記憶に新しいところである。

今回の事例では、泡消火の必要は無く、早期に鎮火に至っているものの、各隊の初動活動においては、個別出場計画が初めて適用された事例であったが、課題が残る結果となった。通常の火災と比べ大隊規模で特異な災害として指令される事例であり、より組織的な活動と厳格な指揮統制活動を展開していく必要がある。そのためには、日頃から危険物災害に対する意識を高く持ち、管内情勢等の把握に努めるとともに、マニュアルに則した警防訓練に取り組むことが重要である。これら日々の研鑽から得られた成果を、災害現場で大いに発揮していただきたい。

続・情報収集の重要性 ～質問調書・聞き取り状況書編～

実録!! 調査鑑識



今回は、情報収集のなかでも消防隊が『聞いた情報』について。前回の出火出場時の状況とは違って、消防隊が火災現場を見る前の状況についての話や、出火原因特定のため、これも重要な手掛かりの一つとなるから、勉強していこう！



判定には、火災現場や鑑識での実況見分と消防隊の出火出場時の見分結果で充分なのでは？

現場での見分が中心となるのは確かやけど、関係者しか知らぬ出火原因につながる重大な情報を聞くことが、合理的な原因判定に繋がるんや。



質問調書と聞き取り状況書の違いは、質問調書は相手側にその文面を確認してもらって間違いがないでっという署名がある点や。質問調書を作成した場合、作成した文面を相手側に読んでもらうか、消防側が読み聞かせる。それで誤りがない場合は、相手側に署名してもらう。押印は不要！もちろん拇印も不要！



質問調書の作成

～火災原因調査要綱第31条～

- 1 調査員は、規程第20条の規定に基づき関係のある者に対し質問する場合は、**質問調書(様式第19号)を作成しなければならない**。この場合において、録取内容は調査上特に重要と認める事項とする。
- 2 質問調書の作成者は、被質問者にその録取内容を閲覧、又は読み聞かせ誤りのないことを確認させたのち任意に本人の署名を求めなければならない。この場合において、被質問者が署名を拒んだときは、質問調書にその旨記載しておくなければならない。

聞き取り状況書の作成

～火災原因調査要綱第30条第3項～

- (1) 関係のある者について質問調書の作成ができなかったとき、又は作成できる見込みがないとき
- (2) 事案が軽微で将来当該火災の原因について物議をかもしおそれがないと認めたとき

・・・は聞き取り状況書をもって質問調書に変えることができる。



と、いうことは原則は質問調書を作成せなあかんってこと。大阪市消防局では聞き取り状況書が主流となっているけど、火気取扱者など、火災発生に係る重要な情報をもってるであろう人物には質問調書の作成を心掛けよう！

質問・聞き取りの内容(火気取扱者)

- 1、何をしていたか(取扱っていた火気器具等)
- 2、何時から(作業開始時間)
- 3、何処で(作業場所)
- 4、なぜ火災に？(火災になった理由【わかっていれば】)
- 5、いつ火災に？(火災になった時間)
- 6、その後の行動は？(通報、初期消火、避難等)

供述を鵜呑みにすることなく、どのような過程で火災に至ったのか合理的に納得できる内容を聞き取る意識を持つことですね！



質問については、相手の立場や心情を慮って、言葉遣いにも注意が必要。下手に出すぎる必要はないけど、火災調査の意義を理解してもらうことに努めることが大事なことなんですね！

ポイント

- ・質問は直接経験した者に行う。人づての情報は採用しないこと。
- ・自己が期待し、希望する供述を得ようと、供述を誘導することは禁止。公正かつ公平な立場で質問すること。
- ・火災現場において、関係者の話を聞く場合は、なるべく人目を避け、指揮本部やCC車内で行う等も考慮。
- ・同じ質問を何度も何度もされると、温厚な人も気分を害します。まして自分の家が火災となってしまう場合は冷静ではられません。なるべく、警察等関係機関と合同で話を聞く等考慮すること。



火災調査のために必要と判断されるなら質問対象者に制限はないんですよ。
必要と思う人なら、どんどん質問しよう。
例えば、火災の第一発見者や初期消火者、通報者なんかは重要情報を持ってる可能性大やで。

質問・聞き込みの内容(発見状況など)

- 1、いつ？(発見した時間など)
- 2、何処で？(発見位置【燃烧物からの位置関係を押さえる】)
- 3、何が？(燃烧物、建物の場合は階数と位置)
- 4、どのように？(燃え方【煙の色や量、勢い】)
- 5、その後の行動(通報、初期消火、避難等)

原則、氏名・職業・年齢・住所・電話番号は聞き取りますが、個人情報なので取扱いには注意しないといけませんね。
任意なので回答拒否もあります。供述内容に虚偽内容があっても罰則はありません。
火災予防のため協力していただければ幸いです。



× 悪い例(判定文に引用できない)

残業で退社するのが遅くなりました。駅から徒歩で帰り、途中にコンビニで夜食を買いました。店を出て、この道まで来ると、前方で建物が燃えていました。びっくりして、慌てて「火事や！」と大声を出しました。そのうち人が道路に出てきました。119番も携帯から電話しました。しばらくすると消防署のサイレンと鐘の音が聞こえました。

○ 良い例

この火災を発見したのは、**夜中の11時00分ごろ**でした。残業で遅くなったのですが、**幹線道路の国道1号線**から、**◎◎たばこ店の角**をまがると、**前方の東**の方が明るくなっていました。近づくとも**〇〇荘**という2階建アパートの**2階西端の窓**から炎が出ていました。窓ガラスは割れていたと思います。その他の窓からの炎はありませんでした。
私が発見したときは、**周囲に人影はありません**でした。携帯で119番通報しました。そのうち付近に人が集まってきました。

第一発見者



東側の台所にある窓から火心いてたで！！

右の写真は、実際にあった火災の実況見分前の状況。一人暮らしの老人宅での全焼火災で、火元者も亡くなった現場。平屋建物がすべて崩落しており原因究明の難航が予想されたけど、第一発見者の聞き込みから出火原因が明らかになった事例や。



出火原因はガスこんろと判明！



ガスこんろ

まとめ

質問・聞き込み状況は、消防隊の出火出場時の見分とは位置付けが変わり、火元者等の供述を100%間違いなし！と捉えることは危険です。ですが、**複数の人が同様の供述をしている**時は信頼度は上がります。
聞き取りのポイントは、火災発生後、**出来るだけ早い時期に実施**することです。人の記憶は時間の経過に比例して薄れて行きますので、出来るだけ記憶がハッキリしている早い段階での聞き取りを実施することが大切です。また、人の記憶は無意識の内に**自分に有利なように変遷**することがあると言われていたため、自分にとって都合の悪い事実が、知らず知らずのうちに自分にとって都合のよいものに変質することがあるので、特に火災発生に重要な立場にある者に対する質問は早い時期に行うことが重要です。

聞き込みのポイントなどは以上のとおりですが、一番大切なことは、火災により被害を受けた関係者に話を聞く場合、まずは**被災された事実に対して深い惻隠の情(そくいんのじょう)**を持って接することです。ご家族、同僚が火災により死亡・負傷している場合は、特に重要です。その上で、**類似火災予防という目的**で火災調査を行っているので、是非とも協力していただきたいという姿勢で質問しましょう。
質問・聞き込みは火災調査で**最も重要な技術の一つ**であると認識しましょう！

ウィアー ルーキーズ!

大阪府立消防学校 初任教育生 月間報告

We are Rookies!

視察研修



第113回 初任教育生が入校して2ヶ月が経過しました。初任教育生も教官も奮闘中です！今回は令和4年11月22日(火)に実施した、視察研修の様子を紹介します！

この視察研修は、高度専門教育訓練センターにて開催された「第9回大阪府下警防技術指導会」と関西エアポートオペレーションサービス株式会社消防部の訓練視察を通じて、消防職員として統制ある団体行動を身に付け、知識と自覚を高めることを目的としました。

第9回大阪府下警防技術指導会



初任教育生は各本部の先輩方が実施する、基本に忠実かつ安全管理意識の高い活動を目の当たりにし、思わず「すごい。。。という心の声が出ていました。確実な放水技術、迅速な屋内進入など先輩方との明らかな差を感じつつも、自分達もあの場に立てるような格好いい消防士になる！」と決意を新たにしました。



関西エアポートオペレーションサービス(株) 消防部 車両・訓練視察



関西国際空港では、空港に特化した特殊車両を数多く見る事ができました。容量 12,500ℓの大型タンク車両、毎分 6,000ℓ放水が可能な空港用化学車両など、乗車体験までさせて頂き、貴重な経験となりました。



消防部の放水展示訓練では、その迫力に圧倒されながらも、自分たちの足りない部分を再認識できました。空港で発生した火災にすぐ対応できるよう、日頃から訓練を重ねる姿は、教育生のモチベーションをさらに高めてくれました。



柏原羽曳野藤井寺消防組合 令和4年度 三市合同総合防災フェア

令和4年11月20日(日)羽曳野市古市石川左岸河川敷内石川スポーツ公園内にて「令和4年度三市合同総合防災フェア」を柏原市、羽曳野市及び藤井寺市の三市合同で開催し、約3,000人の市民の方々に参加され賑わいました。

展示ブースでは、消防車両だけではなくパトカーや陸上自衛隊の車両、ドクターヘリなどを展示し、体験型ブースでは、ちびっこレスキュー、関西電力の高所作業車や消防車の乗車、AED訓練などを体験していただきました。

フェアの最中には警察・消防合同の警察犬による埋没土砂からの捜索・救出訓練、低所救助訓練やNBC災害訓練、消防ヘリコプターでの救出訓練などの演習訓練を行い、参加した市民からは「色々な体験をし、改めて災害に対する日頃の準備が大切であると再認識しました。」など、たくさんの感想をいただきました。



東大阪市消防局 体操元日本代表の杉原愛子さんが 一日消防署長

令和4年11月9日(水)から11月15日(火)までの7日間に実施された「令和4年秋季全国火災予防運動」にあわせて、11月4日(金)に東大阪市消防局東消防署が杉原愛子さんを一日消防署長としてお迎えしました。

同日に行われた石切参道商店街パレードには、杉原愛子さんの他に花園近鉄ライナーズの選手も参加していただき、パレードを華やかに盛り上げていただきました。パレード終了時には、東大阪市消防局の公式SNSへの動画撮影にも協力していただきました。かわいらしさと華やかさで、素晴らしい広報動画を作成することができました。大変なスケジュールのなかでも、終始笑顔を絶やさず、全ての要望に応じていただきました。

今後もこのような行事を通じて、市民の防災意識を高め、「市民生活の安全確保」につなげてまいります。





泉大津市消防本部 市制80周年消防ふれあいフェスタを 開催しました!!



泉大津市は、今年度「市制施行80周年」の節目を迎え、様々な記念行事を実施するなか、消防本部では、令和4年11月23日(祝・水)に消防庁舎を開放し「市民とふれあい、今まで以上に消防署を知っていただく」ことを目的として、消防ふれあいフェスタを開催し、多くの方々にご来場いただきました。

イベントでは、本市出身のファッションモデルで80周年応援大使を務める浪花ほのかさんを1日消防署長に招き、任命式やトークショーなどを行いました。また、VR消火体験や防火についての紙芝居、ミニ消防車の搭乗など各ブースでは、幅広い年齢層の方々に参加していただきました。

近年、これまで地域連携により培った防災機能は、コロナ禍の影響により人と人との繋がりが薄れ、低下することが懸念されています。消防本部では、このイベントの開催により、地域の皆様の消防への理解と絆がより一層深まる良い機会になったと感じています。

池田市消防本部 災害対応特殊消防ポンプ自動車を 購入しました



池田市消防本部では、令和4年度に災害対応特殊消防ポンプ自動車を購入しました。この消防車は、600ℓの水槽及びCAFS装置を搭載したCD-I型の車両となります。

今回の機装は、今後の定年延長に伴う、消防隊員の高齢化等を考慮し、より安全性の高い現場活動を実現することを目的とし、本市としては初めて電動アシスト付きホースカーや動力昇降装置を装備しました。また、資器材の収納スペースをより多く確保し有効に活用するため片側吸管とし、右側面を各種資器材に合わせた専用棚としました。この専用棚を作成することで、火災時には、迅速に必要な資機材の持ち出しが容易となりました。また、昨今増加する救急隊の活動支援として出場する際も、活動がスムーズに行えるようキャビン内の感染防止衣や救急支援用資器材の収納にもこだわり機装を施しました。

日々、変化する時代に対応し、複雑化・多様化する災害から、市民の安全・安心を守るため、この災害対応特殊消防ポンプ自動車を有効活用して行きたいと思えます。



令和4年

秋の叙勲



おめでとうございます。

秋の叙勲受章者として、
次の方がその榮譽に輝きました。



瑞宝小綬章
元 消防正監
和田 敏章
(70才)



瑞宝小綬章
元 消防正監
藤嶋 誠
(70才)



瑞宝双光章
元 消防監
小鶴 雄司
(64才)



瑞宝双光章
元 消防監
貝本 義明
(64才)



瑞宝双光章
元 消防正監
中尾 保誠
(63才)



瑞宝双光章
元 消防司令長
加藤 修
(65才)



瑞宝双光章
元 消防司令長
上岡 誠
(65才)



瑞宝双光章
元 消防監
藤田 巧
(64才)

おめでとうございます。

第39回危険業務従事者叙勲受章者として、
次の方がその榮譽に輝きました。



瑞宝単光章
元消防司令
早瀬 利彰
(69才)



瑞宝単光章
元消防司令
小谷 廣昭
(69才)



瑞宝単光章
元消防司令
小笹 雅弘
(69才)



瑞宝単光章
元消防司令
米原 徳三
(70才)



瑞宝単光章
元消防司令
中村 晴朗
(68才)



瑞宝単光章
元消防司令
中嶋 昭雄
(68才)



瑞宝単光章
元消防司令
寺本 壽男
(68才)



瑞宝単光章
元消防司令
田中 克美
(68才)



瑞宝単光章
元消防司令
喜田 佳浩
(67才)



瑞宝単光章
元消防司令
菊池 栄祐
(67才)



瑞宝単光章
元消防司令
安食 勇治
(67才)



瑞宝単光章
元消防司令
濱田 憲吾
(68才)



瑞宝単光章
元消防司令
守屋 彰教
(67才)



瑞宝単光章
元消防司令
實成 裕之
(67才)



瑞宝単光章
元消防司令
松浦 博
(67才)

ホテル阪神大阪

大阪万国博（EXPO、70）を控えホテル業界が有望視されている中、1967年（昭和42年）4月、現在の西梅田で「ホテル阪神」は開業されました。当時では最新の技術を用いた「西日本随一の高層ビル（地上15階、塔屋3階建）」の中にあり、天気の良い日には淡路島まで見えたといえます。1999年（平成11年）4月に現在の福島駅前に移転開業され現在に至っております。その後、自衛消防隊が組織され、有事の際には、人的または物的な被害を最小限に抑えるため、福島区の防火防災意識



の向上にご尽力頂いております。
福島自衛消防協議会では、従業員の防火防災意識と消防技術の向上に努められています。福島自衛消防技術練成会では、消火器操作や屋内消火栓操作にて日頃の訓練成果を発揮されており、平成28年度の屋内消火栓操作法では第2位、令和4年度は消火器操作法では第3位と好成績を収めております。

自衛消防隊紹介

自衛消防隊長
里部 敦也

ホテル阪神大阪では定期的に自衛消防訓練を実施し、迅速に対応できるように取り組んでおります。災害備蓄品も備えており、災害時にも対応できる体制を整えております。



女性防火クラブだより

浪速区

私たち浪速区女性防火クラブは、平成3年8月に地域振興会各連合の女性部を中心に10支部で発足し、その後幸町連合が創設され現在は11支部で構成されています。

私たちの住む浪速区は、大阪市のほぼ中心に位置し大阪のシンボルでもある「通天閣」がある新世界、関西国際空港にもつながる交通の拠点となる難波など東側は商業地域、西側は歴史のある街並みの住宅や工場の混合地域、中央部分には「OCAT」や高層マンションがある住工商業の混合地域とまさに大阪市の縮図となるような街並みになっています。今年度は、約2年ぶりに高



齢者宅への防火訪問や街頭広報等の火災予防の行事を実施することができました。今後もコロナ禍により社会の動向を掴むことができない状況ですが、浪速区女性防火クラブは一丸となって、感染拡大防止に努めながら「安心で住みよい浪速区」を目指して、防火・防災の推進に取り組んでまいります。



救急安心センターおおさか だより

#7119にお電話を!!!

『救急安心センターおおさか』は、大阪府内全市町村を対象地域とし、大阪府民の方が突然の病気やケガで「救急車を呼んだほうがいい?」「今すぐ病院に行くべき?」「近くの救急病院はどこ?」など困ったときに、救急医療相談や症状に応じた救急病院をご案内している救急電話相談窓口です。

平成21年に総務省消防庁のモデル事業として開始してから今年で14年目に突入。ご利用いただく方も増加傾向で、昨年の着信件数は、約30万件となっております。

この救急安心センター事業(#7119)は、近年の救急車の出動件数増加により、救急車の現場到着時間が遅延傾向にあるという状況をうけて、総務省消防庁が、救急車の適切な利用と、潜在的な重症者を早期に発見するなどを目的として推進しているものです。

昨年8月には高知県でも事業が開始され、実施地域は全国で19地域、日本の総人口の約47.5%がカバーされている状況となりました。今後もさらなる全国展開がすすめられています。

なお、『救急安心センターおおさか』をご利用いただく際、「#7119」という電話番号は、お住まいの地域により「おおさか」以外の救急安心センターに繋がったり、お使いの電話回線の状況により繋がらない場合があります。

その場合は、「06-6582-7119」の電話番号をご利用ください。

また、大阪府以外の救急安心センター実施地域は下記のリンクからご覧いただけますので、実施地域をご確認のうえ、ご利用ください。

総務省消防庁ホームページ

<https://www.fdma.go.jp/mission/enrichment/appropriate/appropriate008.html>

令和4年12月5日(月)、天保山岸壁にて実施された「令和4年度大阪港テロ対策合同訓練」での1枚です。関係8機関が集結し、陸では隊員が、海では船舶が整列し大迫力でした。



今月の

推しの一枚

現場に活かす！救急救命士国家試験問題

救急救命士を目指す者が挑む国家試験。その中から、救命士だけではなく災害現場で活動する全ての隊員が知識として身につけておくべき内容を紹介していきます。少し難しいと感じても大丈夫。ヒントを読むうちに答えにたどり着けますよ！では、現場での対応をイメージしつつ、早速解いてみましょう！

第41回（平成30年3月）C問題

30歳の男性。3階のベランダからコンクリートの地面に墜落し、倒れているところを発見されて救急要請された。

救急隊到着時観察所見：意識 JCS 1。呼吸数 28/分。脈拍 120/分、整。血圧 70/40mmHg。体温 36.0℃。SpO₂ 値 98%。顔面蒼白で皮膚湿潤あり。頸静脈怒張なし。胸部聴診上、呼吸音清、左右差なし。胸部触診上、皮下気腫、圧痛を認めない。打撲した左腰部の痛みを訴える。左腸骨稜に打撲痕と皮下出血とを認める。下肢の運動感覚障害はない。

この傷病者に対する現場活動について適切なのはどれか。1つ選べ。

1. 神経原性ショックを疑う。
2. 高濃度酸素吸入は必要ない。
3. 骨盤動揺性の確認が必要である。
4. 心停止前の輸液の指示要請を行う。
5. ログロールを行い背面観察をする。

ヒントレベル

用語の説明

●神経原性ショック

主に外傷などにより、脊髄が損傷を受けて血圧が保てなくなった状態。交感神経系の遮断により血管が拡張し、心臓の動きも弱まるため血圧が低下する。

●骨盤動揺性の確認

腸骨稜を左右から愛護的に圧迫するなどの方法で骨盤動揺性を判断できることもある。

●ログロール

傷病者の身体を1本の丸太に見立て、脊柱に回旋や屈曲を加えずに転がす動作のこと。



ログロール

ヒントレベル

注意すべき所見

- 血圧低下、頻脈、顔面蒼白で皮膚湿潤あり ⇒ ショック徴候。どのような処置が必要か？
- 脈拍 120/分（頻脈） ⇒ これは神経原性ショックの症状か？

ヒントレベル

ここもポイント

- 下肢の運動感覚障害はない ⇒ 脊髄損傷を疑う状況ではない。
- 用手による骨盤動揺性の確認は止血血栓を破綻させて出血を助長させるため、現在では推奨されない。

解答・解説

正解 4.心停止前の輸液の指示要請を行う

ショック状態なので高濃度酸素投与の適応。頻脈であることから神経原性ではない。左腰部の痛みと骨盤の打撲痕などから左腎や骨盤などの損傷による循環血液量減少性ショックを疑い、心停止前の静脈路確保と輸液を考慮^{※注意}。出血の助長を防ぐため、骨盤動揺性の確認やログロールを避ける。

（参考・引用 株式会社へるす出版「第41回 救急救命士国家試験問題 解答・解説集」）

※注意 大阪府大阪市地域MC協議会のプロトコルでは、外傷による循環の異常はロード&ゴーの適応で、原則、輸液は行わず搬送を優先する。

表彰

令和4年12月15日付け

火災防ぎよ活動（賞与）

淀川消防署

1部東三国小型タンク小隊

- 消防司令補 藤原 健悟
- 消防士長 八馬 裕太
- 消防副士長 不破 和彦
- 消防士 小路 裕也

令和4年7月13日、淀川区の一般住宅で発生した火災現場において、東三国小型タンク小隊は直近隊として出場。現場到着時、火元建物の屋根上、西及び東側から激しく火炎が噴出しており、中継隊の十三橋小型タンク小隊と連携して東西の延焼阻止を実施。併せて、火元建物の玄関扉をとり口で破壊し、玄関付近の検索及び内部状況の確認を実施した。また、淀川特別救助隊（以下、「淀川CR」という。）から火元東側建物の屋根上に要救助者2名がいるとの情報を聴取し、救出補助を実施した。救出後、主火力を制圧するべく、淀川CRと連携して火元建物1階へ転進、濃煙熱気の中、面体を着装し、とり口で天井を破壊しながら鎮圧まで消火作業を実施。併せて、火元

建物2階の状況を折りたたみ梯子を用いて確認したところ、階段部分に火柱が上がっていたため、時機を逸することなく、他隊へ消火活動を要請した。これらのことから、状況に応じた判断を適切に行い、他隊との連携を密にし、被害を最小限に抑えた功績による。

火災防ぎよ活動（賞与）

淀川消防署

1部淀川小型タンク小隊

- 消防司令 大橋 一仁
- 消防司令補 上嶋 恵大
- 消防士長 紙屋 孝生
- 消防士長 田口 昌敬

（現…中央消防署）

令和4年7月13日、淀川区の一般住宅で発生した火災現場において、淀川小型タンク小隊は北側の防ぎよを事前任務として活動。現場は、延焼危険の高い木造密集地域で、道路も狭隘であったことから、ホースカーを先におろした後に、消防車両を後退させ消火栓部署するなど地域特性を的確に判断し活動を開始。現場到着後、火元建物

北側にある路地塀扉の鍵金具を破壊し火元建物北側へ進入すると火元建物の屋根が抜け他の建物への延焼危険があったことから、火元北側建物への延焼阻止を行いつつ、火元建物の裏口を破壊し面体を着装して屋内進入し主火力への効果的な放水を実施。これらのことから、延焼危険方向を迅速かつ的確に判断した筒先配備と積極的な消火活動を行ったことで、被害の拡大を最小限に抑えた功績による。

救急活動（賞与）

東住吉消防署

1部矢田小型タンク小隊

- 消防司令 藤本 聖佳
- 消防司令補 中山 英人
- 消防士長 長野 泰一
- 消防士長 尾花 一

令和4年7月18日、東住吉区の一一般住宅で発生した70代女性の心肺停止事案において救命連携活動隊として出場。発生場所は一般住宅の2階脱衣所であり狭隘なスペースでの活動であったことから、隊長は十分な活動スペースを確保するよう隊員に指示するとともに家人が行っていた胸骨圧迫を引き継ぎ、速やかにAEDにて除細動を実施した。また、状況を把握できていない家人に対して状況説明を行い、併せて情報収集を行った

もので、救急隊到着までの間、絶え間なく質の高いCPRを継続した結果、救急隊到着時には総頸動脈での脈拍触知とはっきりとした自発呼吸の再開を認めたもので、救命連携活動隊として早期に救命活動に着手した結果、現場にて自己心拍と自発呼吸を再開させ傷病者の良好な予後に大きく寄与した功績による。

救急活動（賞与）

北消防署

2部南森町救急隊

- 消防司令補 城川 崇
- 消防士長 照屋 寿
- 消防士長 井上 義崇

令和4年8月5日、北区の共同住宅で発生した救急事案において、現場到着後、速やかに観察を実施しCPAであることを確認。すぐさまCPRを開始するとともに家人より事故概要を聴取。時間的経過から心拍再開の可能性が大であると考え、現場でのCPR及び特定行為処置の実施を決定。速やかに特定行為の指示を受けると、心電図の解析で心室細動を認めため時期を逸することなく除細動を実施。除細動実施後、ビデオ喉頭鏡による気管挿管と静脈路確保、薬剤投与を含む救命処置を的確に行い、質の高いCPRを継続しながら搬出作業を行っていたところ、

総頸動脈にて脈拍を触知したため人工呼吸のみ継続するも、自発呼吸の再開を認めため補助換気に切り替え搬出。車内収容後も適切に状態を管理し医師に引き継ぐなど、早期の除細動と高度な救命処置を迅速かつ的確に実施し、傷病者の良好な予後に大きく貢献した功績による。

救急活動（賞与）

生野消防署

2部巽小型タンク小隊

消防司令補	室谷 真吾
消防士長	井手向 寛
消防士	熊澤 真守
消防士	芝田 流星

令和4年8月8日、生野区の寺院で発生した80代男性の心肺停止事案において救命連携活動隊として出場。現場到着後、直ちに観察を行いCPAであることを確認したため、従業員が実施していた胸骨圧迫を引継ぎBVMを用いた CPRを行うとともに、除細動パッドを装着。解析を行うもショックの必要なしであったため、絶え間なく質の高い CPR を継続するとともに関係者より情報収集を実施した。

東成第一救急隊到着後も質の高い CPR を継続するとともに、救

急隊と情報共有を図り、搬出作業にも積極的に協力するなど、救命連携活動隊として円滑な支援活動に努めた結果、現場滞在時間の短縮に大きく貢献し、傷病者の良好な予後に大きく寄与した功績による。

救急活動（賞与）

東成消防署

2部東成第一救急隊

消防司令補	康原 泰豪
消防士長	櫻田 成男
消防士長	藤本 淳

令和4年8月8日、生野区の寺院で発生した救急事案で、現場到着後、救命連携活動隊として先着していた巽小型タンク小隊（以下、「巽ST」という。）の小隊長から事故概要を聴取。傷病者の現在の状況から特定行為が有効であると考え、巽ST隊員に胸骨圧迫の継続と自隊隊員へ特定行為の準備を指示。速やかに特定行為の指示を受け、LTSによる気道確保と静脈路確保、薬剤投与を含む救命処置を的確に行い、質の高い CPR を継続しながら巽STと協力して車内へ収容。搬送中、3回目の薬剤投与を行ったところ自己心拍の再開を認めことから、人工呼吸を継続し容体を悪化させることなく

医師に引き継ぎ、傷病者の良好な予後に大きく寄与した功績による。

火災防ぎよ活動（賞与）

西成消防署

1部海道指定消火隊

消防司令	下川 浩史
消防司令補	柏井謙次郎
消防士長	久保 俊祐
消防士長	上村 祐輔

令和4年8月19日、西成区の共同住宅で発生した火災現場において、海道指定消火隊（以下、「海道STR」という。）は、直近隊として出場。中継隊の海道小型タンク小隊（以下、「海道ST」という。）と連携し、小隊長は隊員に対し発生場所玄関側へ筒先を配備するよう指示し、自らは海道ST隊員と北側開口部側へ筒先を配備。両隊の連携を密にし、室内天井に向けての放水と上階への延焼阻止を実施した。また、海道STR隊員1名と海道ST隊員1名で濃煙が充満する内廊下から共同住宅内の検索を実施し、逃げ遅れた1階及び2階の住人計3名の避難誘導を実施するなど、限られた人員を最大限に生かし、連携を密に時機を失することなく消火活動及び人命救助活動を実施し、被害を最小限に抑えた功績による。

火災防ぎよ活動（賞与）

西成消防署

1部海道小型タンク小隊

消防司令補	溝川 一行
消防司令補	山下 優
消防士長	歸山 蔵経
消防士	宮川 大雅

令和4年8月19日、西成区の共同住宅で発生した火災現場において、海道小型タンク小隊（以下、「海道ST」という。）は、中継隊として出場。中継隊の海道指定消火隊（以下、「海道STR」という。）と連携し、小隊長は北側開口部側へ筒先を配備するよう隊員に指示し、自らは海道STR隊員と発生場所玄関側から室内進入を試みるも、大量の内在品が障害となり玄関から炎が噴出してきたため、天井に向けて間接注水を実施するとともに、北側路上で警戒している隊員に対し、室内天井に向けて放水するよう指示。両隊の放水により室内の火勢が弱まり、玄関扉が開放可能となったため、面体を装着後、室内進入し主火力を制圧、併せて天井を破壊し延焼阻止を図ったもの。また、海道ST隊員1名と海道STR隊員1名で濃煙が充満する内廊下から共同住宅内の検索を実施し、逃げ遅れた1階及び2階

の住人計3名の避難誘導を実施するなど、限られた人員を最大限に生かし、連携を密に時機を失することなく消火活動及び人命救助活動を実施し、被害を最小限に抑えた功績による。

(非番日等における善行(賞与))

生野消防署 1部警防担当

消防司令 山田 大介
消防司令補 小山 大輝
消防士 秋山 威吹

令和4年8月28日、J.R桃谷駅構内の階段で前を歩く女性の背後に近づきスマートフォンを下半身に向ける男性を帰宅途上であった当該職員3名が目撃。1名は被害女性への状況説明をした後、駅員へ通報に向かった。また、他の2名はホームに紛れる男性を探し出し声をかけたが、男性が暴れ出したためその場に取り押さえ、通報を受けた駅員と協力してスマートフォンを取り上げるなど証拠隠滅を阻止し、その後、駆け付けた警察官に男性の身柄を引き渡したものの、これら一連の冷静かつ沈着な判断と勇気ある行動は、犯人の逮捕と、事件の早期解決に寄与したものであり、市民の生命身体及び財産を守る消防職員としての威信を高めた功績による。

救急活動(賞与)

西成消防署

1部西成第2救急隊

消防司令補 原田 昭
消防士長 久篠慎太郎
消防士 岡崎 美月

令和4年9月3日、西成区の一般住宅で発生した70代男性の心肺停止事案において、現場到着後、直ちに観察を行いC.P.Aであることを確認。家人が実施していた胸骨圧迫を引継ぎB.V.Mを用いたC.P.Rを行うとともに、除細動パッドを装着。解析を行うと心室細動を認めため時期を逸することなく除細動を実施。また、速やかに特定行為の指示を受けビデオ喉頭鏡による気管挿管を行うとともに、絶え間なく質の高いC.P.Rを継続して実施。挿管実施後の観察にて自己心拍の再開を確認したため、人工呼吸と状態管理を継続し車内収容。搬送開始直後に自発呼吸が出現するも有効な呼吸ではなかったことから、人工呼吸の継続と全身観察を適切に行い医師に引き継いだもので、早期の除細動と高度な救命処置を迅速かつ的確に実施し傷病者の良好な予後に大きく貢献した功績による。

救急活動(賞与)

中央消防署

1部中央小型タンク小隊

消防司令 藤本 英司
消防司令補 原 信一郎
消防士長 和田 祐樹
消防士 後藤 匠人

令和4年9月20日、中央区の宿泊施設で発生した60代女性の心肺停止事案において救命連携活動隊として出場。現場到着時、施設職員により胸骨圧迫が行われており、速やかに観察を実施しC.P.Aであることを確認。直ちに胸骨圧迫を引継ぐと施設職員が使用していたA.E.Dによる解析が開始され除細動適応の音声指示があったため、周囲の状況を確認し除細動を実施。救急隊到着までの間、絶え間なく質の高いC.P.Rを継続して実施するとともに、関係者から情報収集を行い、後着の救急隊へ引き継いだもの。救命連携活動隊として迅速かつ的確な判断と処置を実施した結果、救急隊到着後に自己心拍が再開し、傷病者の良好な予後に大きく貢献した功績による。



活動表彰



善行表彰

大阪市北区ビル火災を踏まえた 立入検査の強化と人材育成

特別
査察隊

◆ 特定一階段等防火対象物の立入検査強化 ◆

市内に存する5,480件の特定一階段等防火対象物（以下「特一」という。）に対して、今年度中に立入検査を全件実施することとし、半数は予防担当職員による通常検査・SRC、残る半数は警防担当職員による避難管理を主眼とした要点検査としています。なお、特一は市内に偏在しているため、各署予防担当職員及び予防部からなる総勢50名を超える支援員を1名あたり3週間、件数の多い署に派遣し、大阪市消防局一丸となって取り組んでいるところです。

○ 新宿区歌舞伎町ビル火災と消防法第5条の3

「真っ赤になった階段を初めて見た。」

「真っ赤になった階段を初めて見た。」これは、平成13年に起きた新宿区歌舞伎町ビル火災に出場した新宿特別救助隊長の言葉です。

階段に置かれたダンボール箱やゴミ袋が真っ赤に燃えており、消火しながら階段が上がったため、火元3階の進入に15分もの時間を要しました。屋内階段であったため、熱と煙の逃げ場がなく、高熱により階段に貼られたタイルが剥がれ落ちていたことから、相当に活動困難な状況であったと想像できます。同隊員が語った「階段に物が置かれていなければ、消防隊の着手は間違いなくもっと早かった。」を我々は教訓としなければなりません。

新宿区歌舞伎町ビル火災を受け、多くの消防法令が改正され、我々消防吏員には強力な権限が付与されました。それが「消防法第5条の3」です。消防の活動に支障になる物件、避難の障害になる物件、燃焼のおそれのある物件等を確認した場合は、消防吏員がその場で物件の除去を命令することができる権限、行政処分を課することができる「大いなる力」を授けられたのです。

◆ 警防担当職員の人材育成 ～ 特別査察隊によるOJT研修 ～ ◆

特別査察隊は、北消防署及び中央消防署において特一の立入検査を支援し、その中で各署警防担当職員の希望者に対して、それぞれ10日間の研修を行っています（下記通知参照）。到達目標は、消防法第5条の3を自ら行使できること及び自己所属に還元できるレベルになることです。

「北区ビル火災を踏まえた重点的な立入検査の実施について（通知）」

（令和4年8月22日付け消予第353号。一部抜粋）

北消防署及び中央消防署の管内には多種多様な特一が存することから、小規模雑居ビル立入検査時の着眼点や避難障害物件等を確認した際の違反処理事務をはじめ、高圧的な態度を取る関係者への接遇等を短期間のうちに習得することができる。

また、習得した知識・技術を所属にフィードバックすることで、警防担当職員のスキルアップはもとより、予防業務に対する更なる意識改革や行動変容が見込まれるため、各消防署においては次に該当する職員の積極的な派遣に努めること。

【対象者】 予防実務研修中の職員・・・（その他の職員については、本通知参照）

局長メッセージ

皆さん、こんにちは。局長の小西です。

今月は巻頭に年頭訓示が掲載されているかと思いますが、この「局長メッセージ」の方は、実は、ひと月前には入稿するように言われているので、これを書いているのは12月末なのです。残念ながらお正月を前にして、再び「大阪モデル非常事態」となり「赤信号」が点灯してしまいました。行動制限はなかったものの、帰省するのを断念したなど思うようなお正月を過ごせなかったという方もおられるのではないのでしょうか。

さて、昨年末に発表された「今年の漢字」は「戦」でしたね。ロシアのウクライナ侵攻、円安、物価高、電力不足といった生活上での戦い、サッカーW杯の熱戦などが選ばれた理由だそうですが、消防局では新型コロナウイルス感染症第7波での救急体制の逼迫、コールトリアージ件数の増加、加えて、職員の感染者数、濃厚接触者数が急増し毎当務の配置人員の確保に苦慮するなど、まさにコロナウイルスとの戦いでした。本当に、組織一丸となって難局を乗り越えてくれたと思っています。

この先、致死率が季節性インフルエンザ並みに低下すれば、パンデミックの終焉ということになるそうで、おそらくあと半年か1年程度ではないかと言われていますが、それまでは、引き続き、感染対策を徹底しながら組織一丸となって頑張りましょう！

2023年2月



編集後記

表紙のウラ側

今月号の表紙は、水上消防署に
配備されている まいしま です。
1月とは思えない暖かさの中、
令和5年大阪市消防出初式で撮
影しました。

子供が小さかった頃は必ず行っていた豆まきも、近年はとんとご無沙汰で、去年は仏壇にピーナッツを供えてよしとした。そのような手抜きで一年無事に過ごせたのは、運がよかったのかもしれない。もともと豆まきは、旧暦の大晦日にあたる節分の日に、穢れを払い、新しい歳に備える行事だという。

思いもかけず「大阪消防」の編集をお手伝いさせていただけることとなり、はや三月（みつき）。自身は消防活動をする訳でなくとも、冬の夜にサイレンの音を聞くと、走り回っている消防隊員や救急隊員に思いがおよぶようになった。令和の時代に豆まきで火事や疫病を追い払える訳はないが、今年は豆を大人買いし、盛大に播くことにした。

(K)

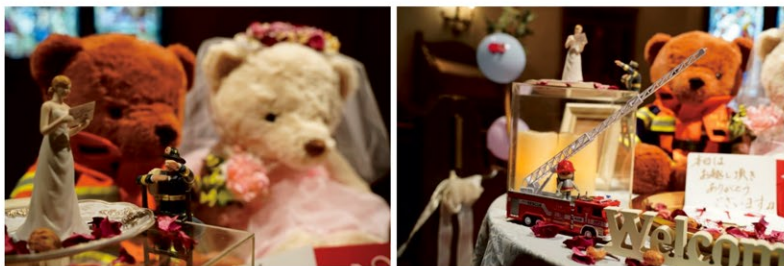
大阪消防

令和5年2月号 第74巻第2号 通巻第875号

発行	大阪消防清風会	編集	大阪市消防局企画部企画課内大阪消防編集部
企画・監修	大阪市消防局		〒550-8566 大阪市西区九条南1-12-54
年間購読料	年間5,280円 (消費税・送本手数料含む)		T E L 06-4393-6036 F A X 06-4393-5120
制作・販売	株式会社サイネックス		Eメール pa0110@city.osaka.lg.jp

※本誌に掲載されている内容の転載、転用を希望される時は、編集部までご連絡ください。

来年度から婚礼用アイテムを充実させます



結婚式のウェルカムスペースに消防らしい演出はいかが？

消防婚礼 ウェルカムセット

貸出始めます

セット内容:白と茶色のペアのぬいぐるみ(約40cm)とぬいぐるみ専用オリジナル着せ替え※、ライオン人形2体、おもちゃ消防車、救急車、写真立て大小2枚、メッセージカード2枚、消防水引、造花、消防人形etc

着せ替えは消防制服、救助隊外套、救急隊服、活動服、モーニング、ウェディングドレスの6着。
気に入った服装を選んで着せ替えを楽しめます。



撮影協力：ホテルモントレ大阪

消防婚礼ウェルカムセットのレンタルは
2023年4月開始予定

詳しくはお電話にて、お問い合わせください



(一般財団法人)大阪消防振興協会

〒550-0002 大阪市西区江戸堀1丁目24番18号 ☎06-6459-1456(礼股担当)

春の火災予防運動

令和5年3月1日～3月7日

図画作者
大阪市立大成小学校 6年
日野 芭南さん



令和4年度 大阪市防火標語

「知らんけど」言うたらあかん 火の始末



大阪市消防局

防火標語作者 石田 のりさん



鳥よしグループ

ご宴会から二次会まで おまかせ下さい!

大阪 ミナミなら

歓送迎会、同窓会他
各種ご宴会承ります!



都心の
ご宴会処 **鳥よし本店**

大阪 キタなら

ご晩酌・
ご宴会処 **鳥よし茶屋**

電話 (06) 6643-1230

大阪府中央区千日前 2-7-16
千日前交番裏 30m

電話 (06) 6365-0010

大阪府北区曾根崎 2-1-9
梅新お初天神(露天神社)
正門出て左へ30m

二次会 なら...

グランドラウンジ 大阪府中央区千日前 2-7-16
ミス大阪 電話 (06) 6643-1210
ヤングラウンジ 大阪府中央区千日前 2-8-5
ザ・フレッシュ 電話 (06) 6644-1313

ナイトラウンジ 大阪府中央区千日前 2-8-5
ミスパール 電話 (06) 6643-1220
ミスパール 大阪府中央区千日前 2-8-5
昼ラウンジ 電話 (06) 6643-1220



鳥よしグループ 本社

大阪興業株式会社
鳥よし共栄株式会社

〒542-0074 大阪府中央区千日前 2-7-16
電話 (06) 6643-2233・6644-1044